

ステークホルダーの皆様へ

わずか10年で世界的にもユニークな「インターネット金融コングロマリット体制」を確立したSBIグループは、「世界のSBI」への変貌を目指してグローバルな事業体制の構築を加速させております。SBIグループは、来たるべきアジアの時代において成長の時流に乗り、さらなる進化を目指してまいります。

2011年3月期の総括

はじめに、このたびの東日本大震災で被災された方々、及びそのご家族の方に心よりお見舞い申し上げます。役職員一同、被災地の皆様のご健康及び被災地の一日も早い復興を祈念しております。

2011年3月期は、国内では依然失業率が高水準で推移するなど厳しい環境が続きました。国内株式市場は、第2四半期を底に回復基調となっておりますが、東日本大震災による不透明感の高まりもあり、2011年3月末の日経平均株価は2010年3月末より12%下落いたしました。国内IPO社数は前期を4社上回る23社となったものの引き続き低水準にとどまり、個人株式委託売買代金も前期比16%減となりました。一方、海外では、成長著しい新興国の株式市場が、世界情勢に応じて時に不安定さを見せながらも比較的堅調に推移し、世界全体のIPO社数は前期比572社増の1,390社となるなど、国内市場と比較して盛り上がりを見せております。

このような環境下において、当社の連結業績は、売上高が1,410億81百万円(前期比13.3%増)、営業利益は89億32百万円(前期比160.3%増)、経常利益は35億25百万円(前期比216.8%増)、当期純利益は45億34百万円(前期比93.0%増)となり、増収増益を達成いたしました。当期にIPO・M&Aを果たしたSBIグループ投資先企業は17社中16社が海外におけるIPO・M&Aとなっており、国内市場が引き続き低迷する中で海外からの収益が業績を牽引しております。

配当金につきましては、連結当期純利益の20~50%を配当性向の目処とし、原則として期末配当に一本化することを基本方針としております。この方針に則って、2011年3月期は普通配当100円とし、また香港証券取引所メインボード上場を記念した記念配当20円を加え、1株当たり120円の年間配当を実施いたしました。

北尾吉孝

代表取締役執行役員CEO

プロフィール

1951年：兵庫県生まれ

1974年：慶應義塾大学経済学部卒業後、野村證券(株)に入社

1978年：英国ケンブリッジ大学経済学部を卒業

1989年：ワッサースタイン・ペレラ・インターナショナル社(ロンドン)常務取締役

1991年：野村企業情報(株)取締役(兼務)

1992年：野村證券(株)事業法人三部長

1995年：孫正義氏の招聘によりソフトバンク(株)入社(常務取締役管理本部長)

2005年：SBIホールディングス(株)代表取締役執行役員CEOとして現在に至る

収益体制のさらなる強化

SBIグループは創業以来、インターネットを最大限活用して、安い手数料や高金利の預金など、競争力のある金融商品を提供し続けてまいりました。また、利便性やその品質についても第三者評価機関から高い評価を受けているサービスを提供してきた結果、SBIグループの顧客基盤は拡大を続け、2011年3月期末には1,172万人に達しました。

そして現在は、SBIグループの次なる成長ステージを実現すべく2010年3月に掲げた金融サービス事業の「ペンタゴン経営」を進めております。「証券」「銀行」「損害保険」「生命保険」「決済サービス」を5つのコア事業と位置付け、コア事業間のシナジー効果を一層発揮させることで、グループ全体の飛躍的な成長を促すとともに、日本で蓄積してきたコア事業のシステムやノウハウなどを海外新興国に順次移出し、新興諸国での金融サービス事業の展開を加速しております。

さらに2010年7月には、SBIグループの「ブリリアントカット化」という新たなコンセプトを打ち出しました。ダイヤモンドはブリリアントカットをすることでそれぞれの面がより美しく、そして全体として最も輝くようになります。グループの各社・事業体をこのダイヤモンドの面になぞらえ、それぞれの事業を磨き上げることでSBIグループを光り輝くダイヤモンドにすべく、規模の拡大から、収益力の強化を重視した経営へと移行してまいります。

「世界のSBI」を目指して

「21世紀はアジアの時代である」と言われております。世界人口の約半数を占めるアジアは、2015年頃には世界最大の経済圏になると予想されており、SBIグループはその成長を最大限取り込むべく、現地有力機関とのパートナーシップによるグローバル投資体制を構築するとともに、アジア地域を中心とした海外金融機関への出資を拡大するなど、海外新興諸国における事業展開を積極化させております。

そして、こうした動きをさらに加速させるべく、アジアに根ざした組織体制を構築してまいります。そのような展開の一環として、2011年4月に日本に本籍を置く企業として初となる香港証券取引所上場を果たし、香港の第2本社化に向けて準備を進めております。

SBIグループは「日本のSBIから世界のSBIへ」と変貌を遂げ、グローバル企業としてさらなる成長を目指し、今後もお客様のために、投資家の皆様のために、顧客中心主義を貫き、より革新的なサービス、ビジネスの創出に努め、顧客価値、株主価値、人材価値の総和たる企業価値の極大化を追求してまいります。

北尾 吉孝

代表取締役執行役員CEO